

教員養成の目標を達成するための計画

免許種	内 容
幼稚園一種	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教員に求められる専門知識を理解し、教職の意義、教育・保育の基礎技術を修得する。 ・教育現場や現代社会における子どもたちを取り巻く諸問題の解決に使命感と責任感、倫理観を持って活躍し、貢献できる人材を育成する。 ・教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため「子ども発達学基礎演習」や「子ども家庭支援論」を必修科目に位置づけている。 ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れ、地域の園での、ボランティア活動を推奨する。
小学校一種	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員に求められる専門知識を理解し、教職の意義、教育の基礎技術（外国語・情報処理等）を修得する。 ・教育現場や現代社会における子どもたちを取り巻く諸問題の解決に使命感と責任感、倫理観を持って活躍し、貢献できる人材を育成する。 ・教育現場で広く必要とされる知識と技術を身につけるため「子ども発達学基礎演習」を必修科目に、「絵本講座」等を選択科目に位置づけている。 ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れ、地域の小学校での、補習指導や放課後学級のボランティア活動等を推奨する。
中学一種（保健体育） 高校一種（保健体育）	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育教員に求められる専門知識を理解し、教職の意義、教育の基礎技術の修得をする。 ・各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れ、1年次から医学的知見を修得する科目を配置する。 ・免許種の教職課程科目以外にも、教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「学校保健」や「教協処置」、「衛生・公衆衛生学」を卒業必修科目に位置づけている。 ・地域の学校やスポーツ教室等での、ボランティア活動を推奨する。
高校一種 情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教員に求められる専門知識を理解し、教職の意義、教育の基礎技術の修得をする。 ・情報科学の基礎理論からプログラミングやコンテンツ作成などの実践までの幅広い知識と技術を学べる科目を取り入れている。 ・教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「情報の倫理」や「情報と職業」を必修科目に位置づけている。 ・情報関連の授業補佐員のスチューデント・アシスタントとして、コンピュータ実習等の学習の支援を経験する機会を推奨している。
養護一種	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教員に求められる専門知識を理解し、教職の意義、教育の基礎技術を修得する。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・健康に関する知識と技能を駆使し、身体もこころも健康となる幸せな人間生活を実現させるための専門的知識を学ぶ。・教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「保健指導論」や「養護概説」、「学校保健論Ⅰ・Ⅱ」を卒業必修科目に位置づけている。・児童・生徒たちの現状を理解するとともに、保健室を見学しての学校現場の実際を知るための学外実習を行う。 |
|--|---|

■教員養成に係る組織体制

教員養成については、教職課程や教育実習の在り方、教員養成に係る大学としての方向性を検討する教員養成支援会議と教員養成に係る学生への支援を担当する教職・教育支援センターと教員養成に係わる事務を担当する教務課とが連携協力しながら、学生への支援が行える組織体制を構築している。

□教員養成支援会議

教職課程における中心的機能として、教員養成支援会議を組織し、教職課程のカリキュラムの見直しや学部間の科目の調整を図るなど、教職課程の全学的な実施や質の向上を目指した教員養成カリキュラムの検討を行っている。また、教職支援センターと連携し、教育実習の充実を図るための対策を検討している。さらには、教員採用試験への対策としての学生への指導の在り方等についても検証を加えている。

□教職・教育支援センター

学生たちの教員をめざす気持ちをより充実した形で支援するために、平成〇〇年度に教職支援センターが設置された。

教員養成に関する事務機能を集約するとともに、教員養成支援会議と連携し教職協働で本学の教職課程の質的向上を図り、教員免許状の取得及び教員を志望する学生を支援することを目的としている。

〔教員養成支援会議、教職・教育支援センター及び教務課の業務〕

- ・教職課程に関する教育の改善を図るために必要な企画及び運営に関すること。
- ・教職課程に関する教育の改善を図るために必要な調査・研究に関すること。
- ・教職課程認定申請手続き等に関すること。
- ・教育実習に関すること。
- ・介護等体験に関すること。
- ・教員免許状申請に関すること。
- ・教員採用試験等、教員採用に係る支援に関すること。
- ・教職教育に関する各種研修（教員免許状更新講習を含む）に関すること。
- ・教育委員会、地域教育機関及び教育現場との連携協力に関すること。
- ・その他センターの目的達成のために必要なこと。

卒業者の教員免許状の取得状況（2021年度）
（延べ取得人数）

(人)

年 度	卒業者数	幼稚園 一種	小学校 一種	中学 一種 (保健体育)	高校 一種 (保健体育)	高校 情報	養護	備 考
2021	203名	11名	7名	18名	24名	—	11名	
2020	198名	15名	8名	19名	21名	—	13名	
2019	189名	12名	11名	20名	22名	1名	7名	

以上

本学で取得できる教員免許状の種類について

下表は、本学が文部科学大臣より認定を受けている課程です（2022年4月現在）

学 部	学 科	取得可能な免許状
人間学部	子ども発達学科	・ 幼稚園教諭一種免許状 ・ 小学校教諭一種免許状
	健康スポーツ学科	・ 中学校教諭一種免許状（保健体育） ・ 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
看護学部	看護学科（女子）	・ 養護教諭一種免許状 ・ 養護教諭二種免許状*1
経済学部	現代ビジネス学科	・ 高等学校教諭一種免許状（情報）

*1 保健師国家試験に合格し、保健師登録をした者のみ、都道府県教育委員会へ申請することで取得できます。本学の教育職員免許課程に登録する必要はありませんが「教育職員免許法施行規則」第66条の6で定める4科目8単位を修得していることが必要です。

太成学院大学の教員養成について（理念）

太成学院大学では、“太成学院大学 建学の精神 教育は徳なり”のもと、以下のような教員養成を目指している。（に取り組んでいる。）

【 養成する教員像 】

幼稚園教諭一種

幼児教育に必要な 専門知識と指導力を備え、自ら学ぶ意欲を持ち、他者と連携・協働しながら教育を実践できる教員の育成。

小学校教諭一種

児童に対して深い愛情を注ぐことと、児童への深い理解に基づいた教育を実践できる教員の育成。

中学校教諭一種・高等学校教諭一種（保健体育）

学校体育に関する専門知識を有し、心身の健全な発達や健康の保持増進への理解を深め、様々な活動に貢献できる教員の育成。

生徒に対して深い親愛の情を持ち、努力を惜しまぬ教育的情熱に満ちた教員の養成。

高等学校教諭一種（情報）

情報社会においての情報科教育の専門的な知識と技術を有し、情報科教育の重要性、情報の取り扱いにおける安全管理を身につけた教員の育成。

養護教諭一種・養護教諭二種

児童・生徒を取り巻く社会環境の変化について、児童・生徒の心身の健康、安全・安心に関する能力を身につけ、学校教育現場における健康管理と保健指導ができる教員の育成。

こころの健康や身体症状に関する知識、カウンセリング能力、健康問題をとらえる力量や解決のための指導力、調整力を実践できる教員の養成。